

佐藤(生光) 6位 少年女子B 円盤投げ

陸上

組①徳島東(鳴門渦潮)12秒
 50―徳島西(徳島)10秒
 3組②徳島東(鳴門渦潮)12
 秒53―徳島

組③徳島東(鳴門渦潮)12秒
 50―徳島西(徳島)10秒
 3組②徳島東(鳴門渦潮)12
 秒53―徳島

組④徳島東(鳴門渦潮)12秒
 50―徳島西(徳島)10秒
 3組②徳島東(鳴門渦潮)12
 秒53―徳島

組⑤徳島東(鳴門渦潮)12秒
 50―徳島西(徳島)10秒
 3組②徳島東(鳴門渦潮)12
 秒53―徳島

組⑥徳島東(鳴門渦潮)12秒
 50―徳島西(徳島)10秒
 3組②徳島東(鳴門渦潮)12
 秒53―徳島

組⑦徳島東(鳴門渦潮)12秒
 50―徳島西(徳島)10秒
 3組②徳島東(鳴門渦潮)12
 秒53―徳島

組⑧徳島東(鳴門渦潮)12秒
 50―徳島西(徳島)10秒
 3組②徳島東(鳴門渦潮)12
 秒53―徳島



少年女子B円盤投げ決勝 32位24位の佐藤(生光)が投げた瞬間

悪条件苦にせず躍進

大粒の雨が降りしきる悪条件に苦にせず、実力通りの投てきで躍進した。少年女子B円盤投げの佐藤(生光)が、32位24を投じて6位に入賞した。監督のアドバイスのおかげで結果を出せた。また実感はないけどうれし」と全国大会初入賞に笑顔を見せた。雨で足元が滑り、転倒者が相次ぐ中、佐藤も1

21位(徳島の小野大樹)・徳島・日本東北(44位)少年女子B円盤投げの決勝(奈良・添上)39位31位(徳島)・徳島・生光(32位)24

投目を失敗し、2投目を27秒02と低調な記録に終わった。上位争いに食い込むには好記録が求められる3投目。その直前、林監督からの指示に応じ、円盤を持たずに回転動作を繰り返して足さばきなどを確認し、本来のフォームを取り戻した。30分ラインを軽々と越える31秒55をマークして入賞圏内に入ると、5投目でさらに記録を伸ばした。

加茂名中時代に顧問の勧めで円盤投げを始め、高校でも競技を続けた」と、名門・生光学園高の門をたたいた。長い手足を生かしたダイナミックな投てきを持ち味。今後は体力と筋力を強化し、自己ベスト(33秒38)更新を目指す。「先輩方の練習に励み、まずは来年のインターハイ出場を目標に頑張っていきたい」と語った。

(富士佳穂)